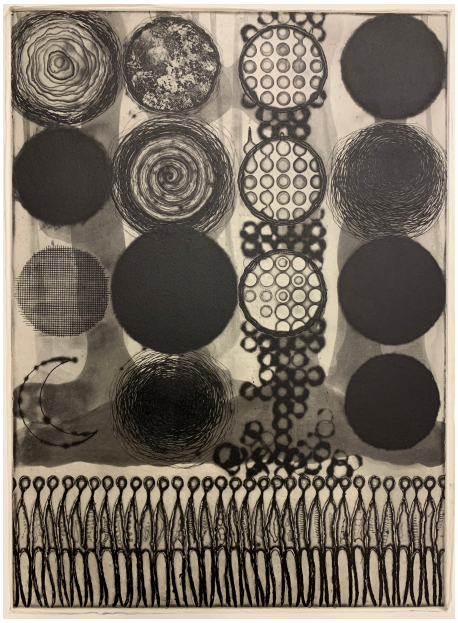
昨日を理解出来るまで

エッチング ドライポイント 雁皮摺　490×360

昭和の横溝正史ブーム、幼少期にまずは映画やドラマで横溝正史のあの世界に触れることになります。よくわからないながらも、その映像の中に表現されたおどろおどろしさや耽美的な空気をくんくん嗅ぎ、程なくして我が家の本棚に並ぶ大人達がブームに乗っかり揃えた横溝正史の原作小説を読み漁っていきます。とはいえ、全てを理解するにはまだまだ修行が足らないお年頃、今日に至るまで何度も何度も読み返すことになります。そして現在、オトナになればなるほど、かつて自分が楽しいんだ横溝作品のエンターテイメント要素が良い具合に削ぎ落とされ気味なことに気づきます。読み終えるごとに「ふーむ…」と鼻から抜けるような、横溝作品の人間の悲哀的要素が断然心地良くなるのです。ようやく、そういうお年頃というわけです。



¥40,000(税込)

加藤 真理　mari kato

1994年	陶芸家 三輪龍作（現 龍氣生）に師事
1996年	木版画制作開始
1998年	萩女子短期大学生活学科陶芸コース助手
1999年	萩市美術展 工芸部門 佳作
2014年	向井陽子版画教室にて銅版画制作開始
2016-2019年	広島市立大学芸術学部 社会人講座版画専攻修了
2017-2018年	GALLERY 交差611 グループ展『I am…』
2020年	Gallery Amoroso 企画展『じょうずに眠れますように』
2020年	Art Labo 空想 企画展『Summer Exhibition』『8gift』参加
2020年	呉市美展 入選
2021年	ART EXHIBITION 瀬戸内大賞展 奨励賞
2020年-	県立高校美術科非常勤講師